

# 地域密着型金融の取組みについて

<平成26年4月～平成27年3月>

豊橋信用金庫

# 地域密着型金融の取組みについて

## I. 地域密着型金融の取組方針

当金庫は、信用金庫の原点である地域密着型金融を恒久的な取組みとして、継続的に推進し、理解者を増やしていくとともに、地域社会の期待に応え、より一層存在感を高めて、取引先の支援や地域活性化のための活動をさらに推進していくことを基本方針としています。このような考え方にに基づき策定された中長期経営計画（第2次「とよしん『つなぐ力』発揮」）やこれに基づく単年度事業計画を確実に取組んでいくことが、地域密着型金融の機能強化につながるものと考え、事業計画において、「地域密着型金融の推進」「課題解決型金融の実施」「海外進出に対する支援」「専門能力向上および公的資格取得への支援」「地域密着型金融の取組状況の公表」「情報開示の充実」「地域貢献活動の推進」など、地域密着型金融に係る取組みを重点施策としています。

平成26年度においても、下記の3項目を中心に、「地域密着型金融の取組み」として具体的に、お取引先の支援や地域活性化のお手伝いを進めてきました。

1. 顧客企業に対するコンサルティング機能の発揮
2. 地域の面的再生への積極的な参画
3. 地域やお客様に対する積極的な情報発信

## II. 平成26年度の取組み概要

当金庫は、全営業店を窓口として、「事業支援部」「融資二部」を中心に地域密着型金融を継続的に推進しており、お取引先の課題解決に取り組んでいます。具体的には、「事業支援部」は新事業創出、経営相談、海外事業展開等のお手伝いを行い、「融資二部」はお取引先の経営改善などを行っております。

平成26年度の実績として、ABLについては、1件100百万円、シンジケートローンについては、4先2,350百万円となっており、PFI事業への融資も取組みました。また、融資二部「法人支援課」による経営改善支援により、要注意債権等の健全化および不良債権の新規発生防止の活動を行い、経営改善支援取組先157先に対し、25先がランクアップしました。

また、次世代を担う経営者・後継者・実務担当者のために「異業種交流の場」を提供する「とよしん次世代経営者の会『元氣塾』」を年4回開催したほか、地元の皆様の事業活性化をはかることを目的に「とよしん食農セミナー」「とよしん海外ビジネスサポートセミナー」を開催しました。

### Ⅲ. 地域密着型金融の具体的な取組みと実績

#### 1. 顧客企業に対するコンサルティング機能の発揮

項 目	具 体 的 取 組	取 組 実 績
創業・新規事業開拓の支援	<p>○産学官連携を推進することにより地域経済の活性化に貢献することを目的として、豊橋技術科学大学や(株)サイエンスクリエイト等との連携を一層強化し、地域活性化の取組みを推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・創業・新事業支援のための融資取組み</li> <li>・農商工等連携事業計画の認定支援</li> <li>・地域産業資源活用事業計画の認定支援</li> <li>・豊橋技術科学大学で農業関連寄附講座を継続中</li> <li>・豊橋技術科学大学等への技術相談等の取次</li> <li>・名古屋商科大学等との連携事業を実施</li> <li>・豊橋商工会議所ビジネスサポートセンター及び中小企業・小規模事業者ビジネス創造等支援事業等を通じて専門家派遣を実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・融資取組実績 85件 1,595百万円</li> <li>・農商工等連携事業計画認定支援 2件</li> <li>・地域産業資源活用事業計画認定支援 1件</li> <li>・しんきん食農技術科学講座継続中</li> <li>・技術相談等取次 7件</li> <li>・名古屋商科大学大学院の企業診断実習実施</li> <li>・専門家派遣 49件</li> </ul>
成長段階における支援	<p>○地域の中小企業のビジネスマッチングへの取組み</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○とよしん次世代経営者の会「元気塾」の開催</li> <li>○とよしん食農セミナーの開催</li> <li>○とよしん海外ビジネスサポートセミナーの開催</li> <li>○海外進出・展開に関する専門家紹介</li> <li>○信金中央金庫やJETRO等と連携した海外進出・展開に関する情報提供</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・しんきんビジネスフェアや三遠南信(8信金)しんきん物産展等の出展を推進</li> <li>・4/18、7/25、11/19、3/6開催</li> <li>・8/5開催</li> <li>・2/26開催</li> <li>・専門家紹介 39件</li> <li>・情報提供 44件</li> </ul>

項 目	具 体 的 取 組	取 組 実 績
経営改善・事業再生等の支援	○経営改善対象先を選定し、「改善ステップ表」を用いた、業況ヒアリング等の実施による経営改善と債務者区分のランクアップへの取組み ○M&A業務の推進	・経営改善支援取組先 157 先 うちランクアップ先 25 先 ・信金キャピタル(株)等と連携してM&A業務を推進
担保・保証に過度に依存しない融資の取組み	○在庫を担保とした流動資産担保融資（ABL）の取組み ○財務制限条項等を活用したシンジケートローンの取組み	・ABL 1件 100百万円 ・シンジケートローン 4先 2,350百万円
人材育成の取組み	○中小企業大学校の中小企業診断士養成講座への職員派遣 ○豊橋創造大学大学院修士課程への職員派遣 ○外部派遣講座への職員派遣	・中小企業大学校 1名派遣 ・豊橋創造大学大学院修士課程 1名派遣 ・外部派遣講座 11名派遣

## 2. 地域の面的再生への積極的な参画

項 目	具 体 的 取 組	取 組 実 績
地域全体の活性化、持続的な成長を視野に入れた取組み	○田原市給食センター整備運営事業に対する融資取組み ○当地域経済問題や産業についての研究支援のための職員派遣 ○豊橋市中心市街地発展活動支援のための職員派遣	・PFI事業への融資取組み ・(公社)東三河地域研究センター 1名派遣 ・(株)豊橋まちなか活性化センター1名派遣

## 3. 地域やお客様に対する積極的な情報発信

項 目	具 体 的 取 組	取 組 実 績
地域やお客様への情報提供	○地元企業に対する景気動向等をアンケート調査し公表 ○金庫経営の改善及び地域へのサービス向上のため、利用者満足度調査を実施 ○地元の小・中学校で金融教育に関する出前授業を実施	・年4回アンケート調査を実施し結果を公表 ・結果をホームページで公表 ・豊橋市・新城市・田原市の小・中学校 14校で実施

平成 26 年度経営改善支援実績

単位:先数

		期初債務者数 A	うち 経営改善支援 取組先数 α	αのうち期末 に債務者区分 がランクアップ した先数 β	αのうち期末 に債務者区分 が変化しなか った先数 γ	αのうち再生 計画を策定し た先数 δ	経営改善支援 取組み率 (%) α/A	ランク アップ率 (%) β/α	再生計画 策定率 (%) δ/α
正常先	①	4,343	—	/	—	—	—	/	—
要 注 意 先	その他 要注意先	② 1,456	127	23	97	95	8.7%	18.1%	74.8%
	要管理先	③ 4	—	—	—	—	—	—	—
破綻懸念先	④	232	30	2	25	30	12.9%	6.7%	100.0%
実質破綻先	⑤	72	—	—	—	—	—	—	—
破綻先	⑥	19	—	—	—	—	—	—	—
	小計 (②～⑥の計)	1,783	157	25	122	125	8.8%	15.9%	79.6%
	合計	6,126	157	25	122	125	2.6%	15.9%	79.6%

(注)

- ・債務者、経営改善支援取組先は、取引先企業（個人事業主を含む）であり、個人ローン、住宅ローンのみの先は含みません。
- ・ $\beta$ には当期末の債務者区分が期初よりランクアップした先数を記載しています。なお、経営改善支援取組先で期中に完済した債務者は $\alpha$ に含めるものの $\beta$ には含めておりません。
- ・期初の債務者区分が「要管理先」であった先が期末に債務者区分が「その他要注意先」にランクアップした場合は $\beta$ に含めています。
- ・期初に存在した債務者で期中新たに「経営改善支援取組先」に選定した債務者については（仮に選定時の債務者区分が期初の債務者区分と異なっていたとしても）期初の債務者区分に従って整理しています。
- ・期中新たに取引を開始した取引先については、本表に含んでいません。
- ・ $\gamma$ には、期末の債務者区分が期初と変化しなかった先数を記載しています。
- ・みなし正常先については正常先の債務者数に計上しています。
- ・「再生計画を策定した先数」＝「中小企業再生支援協議会の再生計画策定先」＋「RCCの支援決定先」＋「金融機関独自の再生計画策定先」